

第98回

日本生化学会大会

The 98th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society

100th
JBS The Japanese
Biochemical
Society-1925

創立
100周年記念

生命の根源としての生化学
— 100年の時空を超えて未来へ —



高校生発表・参加募集

会期

2025年
11月3日(月・祝)～5日(水)

会場

国立京都国際会館

会頭

岩井 一宏
(京都大学 理事・副学長)

高校生発表日 2025年 11月3日(月・祝)

延長しました

発表申込期限

9月1日(月)

2025年8月5日(火)

大会参加の参加申込期限

2025年9月12日(金)

申込方法：下記URLより大会のホームページにアクセスし、お申し込みください。

<https://aeplan.jp/jbs2025/>

日本生化学会大会

創立

100周年記念

生命の根源としての生化学 – 100年の時^{とき}空を超えて未来へ –

高校生によるポスター発表

日本生化学会は、生命科学とその関連分野を研究する、大学・企業・研究機関に所属する研究者で構成される学会です。年に一度、会員を含めて約3,000名の参加者が一堂に会して最新の研究成果を発表し、情報交換を行う日本の基礎研究分野における最大級の学術集会を開催しております。本大会では、学会の100周年を記念して記念式典やシンポジウムを実施する他、将来の生命科学研究を担う高校生と研究者の交流を図るため、高校生のポスター発表も公募したいと思います。是非ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

日時 2025年11月3日(月・祝) 午後5時10分～6時30分(予定) **会場** 国立京都国際会館 ニューホール内(予定)

※ポスターパネルのサイズは高さ210cm×幅90cmです。

※ポスター掲示スペースの制限上、申し込み多数の場合は、発表申込期限よりも早く受付を締め切る場合があります。

※審査員による審査に基づいて優秀者には「ポスター賞」を授与するほか、発表者には「発表証明書」を授与いたします。

高校生の大会参加

11月3日(月・祝)～5日(水)に開催される大会の口頭発表、ポスター発表、企業展示を自由に見学できます。

※発表をしない高校生の大会参加のみの申込も可能です。

※生徒、保護者、引率教員を含め参加費は無料です(保護者は1生徒あたり2名まで)。

※大変恐縮ですが、交通・宿泊費は参加者側でご負担ください。

日本生化学会創立100周年記念シンポジウム Special Lectures ※同時通訳は入りません。

2018年ノーベル賞受賞

本庶 佑

(京都大学)

がんに対する
免疫チェックポイント療法の発見



2004年ノーベル賞受賞

Aaron
Ciechanover

(Technion-Israel Institute of Technology)

ユビキチン依存性タンパク質分解系の発見



2019年ノーベル賞受賞

William G.
Kaelin Jr

(Harvard Medical School)

細胞の酸素利用可能性の
感知機構の発見



申込方法

下記URLより大会のホームページにアクセスし、お申込ください。

ホームページ <https://aeplan.jp/jbs2025/>

